

日本学術会議  
安全保障と学術に関する検討委員会  
(第23期・第7回)

議事次第

日 時： 平成28年12月16日(金) 17:00~19:30

会 場： 日本学術会議6階 6-C(1)(2)(3)会議室

議 題：

1. 研究適切性の判断は個々の科学者に委ねられるか、機関等に委ねられるか
  - ・赤林朗先生からの説明
  - ・小沼通二先生からの説明
  - ・鈴木達治郎先生からの説明
  
2. 安全保障にかかわる研究資金の導入が学術研究全般に及ぼす影響
  - ・吉川 弘之先生からの説明
  
3. 日本学術会議声明をめぐる議論からの展望
  - ・井野瀬久美恵先生からの説明
  
4. 今後の進め方
  
5. その他
  - ・小森田委員からの説明
  - ・小松利光委員からの説明

資 料：

(議題1関連)

- 資料1 「生命倫理に関する研究機関における検討について」(赤林朗先生資料)  
資料2-1 「軍事研究と日本物理学会、そして日本学術会議」(小沼通二先生資料)  
資料2-2 「参考資料「初期の日本学術会議と軍事研究問題」(小沼通二先生資料)  
資料3 「原子力平和利用の担保について-その枠組みと科学者・技術者の社会的責任-」(鈴木達治郎先生資料)

(議題 2 関連)

資料 4-1 「安全保障技術推進制度について-提案-科学者（日本学術会議）は何をするのか」（吉川弘之先生資料）

資料 4-2 「安全保障技術研究推進制度への科学者の対応」（吉川弘之先生資料）

(議題 3 関連)

資料 5 「学術会議声明をめぐる議論からの展望」（井野瀬委員資料）

(議題 4 関連)

資料 6 日本学術会議主催学術フォーラム「安全保障と学術の関係：日本学術会議の立場」の開催について

(議題 5 関連)

資料 7 史学委員会シンポジウム「科学者・技術者と軍事研究—科学・技術と研究者倫理にかかわる諸問題の科学史的検討」について（小森田委員資料）

資料 8 安全保障と学術に関して（小松委員資料）

## ■ 参考資料

参考資料 1 前回議事録

参考資料 2 米国主要大学の研究公開ポリシーについて（事務局作成資料）

参考資料 3 史学委員会歴史認識・歴史教育に関する分科会からの意見

参考資料 4 今後の会議開催日程